

魚沼地域定住自立圏 次期共生ビジョン方針検討ワークシート

ページ	事業No.	事業名	共生ビジョン 対応ページ
1 ~ 2 ...	1	地域完結型を目指す医療・介護・福祉の連携推進事業	(27)
3 ~ 4 ...	2	図書館の相互利用事業	(31)
5 ~ 6 ...	3	スポーツ施設の相互利用事業	(32)
7 ~ 8 ...	4	文化施設の相互利用事業	(33)
9 ~ 10 ...	5	公民館講座の相互利用事業	(35)
11 ~ 12 ...	6	定住促進事業	(37)
(1) 13 ~ 14 ...	7	産業連携事業	(41)
15 ~ 16 ...	8	圏域観光情報窓口事業	(43)
17 ~ 18 ...	9	木質バイオマス利用促進事業	(—)
19 ~ 20 ...	10	廃棄物処理等広域連携事業	(45)
21 ~ 22 ...	11	し尿等受入施設広域化事業	(46)
23 ~ 24 ...	12	消費生活相談体制の強化事業	(49)
25 ~ 26 ...	13	防災対策活動推進事業	(—)
27 ~ 28 ...	14	子育て拠点施設の相互利用事業	(54)
29 ~ 30 ...	15	路線バス支援事業	(51)
(2) 31 ~ 32 ...	16	広報活動推進連携事業	(—)
33 ~ 34 ...	17	婚活支援事業	(53)
(3) 35 ~ 36 ...	18	職員の人材育成のための合同研修事業	(57)

(1)・・・生活機能の強化に係る政策分野

(2)・・・結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(3)・・・圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

事業名	地域完結型を目指す医療・介護・福祉の連携推進事業	事業No.1
------------	--------------------------	---------------

① 事業概要

魚沼基幹病院の開院以降、各市町において独自の様々な助成制度を制定し、地域医療体制の確保を目指して事業を実施してきたところである。中でも魚沼地域全体の課題である医療・介護・福祉の人材確保については、多くの制度があるものの各市町で独自に制定していることもあり、魚沼地域として考慮された制度にはなっていないため、住所や勤務先の所在地によって受けられる助成が異なっている。

そこで圏域内で格差がなく利用しやすい人材確保の制度について、検討・構築を行い、地域完結型の介護医療体制の構築を促進に寄与する取り組みを行う。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・魚沼圏域（魚沼市・南魚沼市・湯沢町・十日町市・津南町）の医療再編により、平成27年に開院した魚沼基幹病院を中心とした医療体制の機能分担や連携強化、ICTシステムを活用した「魚沼地域医療連携ネットワーク」（うおぬま米ねっと）などにより、地域完結型医療体制の構築が進められてきた。
- ・しかし、医療・介護・福祉の人材不足（都市部への流出も含む）に加え、長岡市や群馬県などの周辺圏域への患者流出が多く、地域完結型の医療・介護・福祉体制の提供が困難になってきている。
- ・また平成29年に新潟県地域医療構想が策定され、地域における病床の機能分化及び連携の推進、各病床の機能の区分に応じた必要な医療資源の適切な投入、患者の早期の居宅等への復帰を進めるとともに退院後の生活を支える在宅医療及び介護サービスの充実などを目的として、構想区域ごとに調整会議を実施し、検討を進めてきている。
- ・加えて各医師会により在宅医療推進センター（H28魚沼市設置、H29南魚沼郡市設置）が設置され、急増する在宅医療・介護等の課題解決や相談業務を行い、誰もが安心して住み慣れた家で療養生活ができる地域づくりを目指すための役割を担う、という取り組みが行われている。

③ 事業実現までの進捗状況（1～4のうちいずれかを選択）

- | | |
|----------|---|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> 4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない |
|----------|---|

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。

★ **必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。**

★ **必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。**

⑤事業の実現可能性について（事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択）

- | | |
|----------|---|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> 4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能 |
|----------|---|

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

令和4年度には介護人材確保に関する補助金の要件が圏域内で統一され、令和5年度には介護支援専門員受験対策講座について、3市町での共同開催を行うことができた。

事業名	地域完結型を目指す医療・介護・福祉の連携推進事業	事業No.1
------------	--------------------------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】
 人材確保においては勤務地と居住地とが密接に関連するため、連携によるメリットはあると考えるが、
 現段階ではその効果が見えにくいと感じる。

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 **【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	4	2市1町それぞれの考え方を共有しあえることは、定住自立圏のみならず貴重な機会であると考えます。
魚沼市	4	2市1町それぞれの考え方を共有しあえることは、定住自立圏のみならず貴重な機会であると考えます。
湯沢町	4	情報交換を通じて圏域内の課題等を共有できるので、良い機会だと思う。また、人材確保事業で問題になっている市町間の差について協議する場としても活用できると思う。

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

最近、介護認定調査でのAI活用が話題になることがあるので、事務を効率化し職員の負担を軽減するために導入を検討してみているかどうか。(県内では燕市が導入済み)

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載)備考・コメント
南魚沼市	保健課	課長	村山 律	
魚沼市	健康増進課 福祉支援課 介護支援課	課長 課長 課長	小山 収 戸田 千穂子 茂野 孝	
湯沢町	福祉保健部	部長	田村 雅彦	

今後の方針

事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	第2期共生ビジョンの時点で、医療・介護・福祉人材の確保に関する取組に方針転換を行い、2市1町で具体的取組を進めることから、次期共生ビジョンは継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	図書館の相互利用事業	事業No.2
------------	------------	---------------

① 事業概要

・地域住民に対する図書館サービスの拡充及び図書館資料の有効活用を図るため、南魚沼市、湯沢町、魚沼市の相互利用体制を強化し、市民への周知を目指す。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・南魚沼市と湯沢町との間では「南魚沼地域市町村圏域構成市町の公の施設の相互利用に関する協定」、南魚沼市と魚沼市の間では「南魚沼市と魚沼市の図書館等の相互利用に関する協定書」、魚沼市と湯沢町の間では「魚沼市と湯沢町の図書館等の相互利用に関する協定書」が締結されており、運用を行っている。
 ・各市町において利用条件がすべて統一されていないほか、予算を伴うサービス（リクエストや予約）に制限がある。

③ 事業実現までの進捗状況 （1～4のうちいずれかを選択）

- | | |
|----------|---|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> 4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない |
|----------|---|

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・

〔次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。〕

- ★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
- ★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について（事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択）

- | | |
|----------|---|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> 4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能 |
|----------|---|

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

事業名	図書館の相互利用事業	事業No.2
------------	------------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	4	
魚沼市	3	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	図書センター	センター長	小林 利恵子	
魚沼市	生涯学習課	課長	青柳 洋介	
湯沢町	子育て教育部	部長	南雲 剛	確認しました。

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	2市1町で相互利用の協定は締結済みであることから、次期共生ビジョンにおいても取組を継続する。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	スポーツ施設の相互利用事業	事業No.3
------------	---------------	---------------

① 事業概要

・地域住民に対するスポーツ施設の有効活用を図るため、現在、南魚沼市と湯沢町との間で行っているスポーツ施設の相互利用を魚沼市にも拡大する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・南魚沼市と湯沢町の間では既に「南魚沼地域市町村圏域構成市町の公の施設の相互利用に関する協定」が締結されている。
- ・各指定管理施設の施設管理者へ利用料、減免状況を確認したところ、同一条件での利用には財源補填を要するため、現状では難しい。
- ・人口減少下において、利用者減少による施設統合や廃止を見越した対応が必要になることが見込まれるため、相互利用できる方法を検討していく。
- ・令和3年3月に「湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会」が発足し、2市1町を結ぶ全長約193kmの「雪国魚沼Golden Cycle Route」の整備に取り組んでいる。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。

★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。

★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤ 事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

2	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃実現可能となるか(実現したか)記載】

- 2…スポーツ施設の相互利用については現状では難しく、当初の達成は困難である
- 3…連携自転車活用推進協議会においては、目標である令和7年度末時点での整備率達成に向け、必要とされる事柄の洗い出しと各道路管理者における認識の共有・予算確保、維持管理手法等十分な調整が必要である

事業名	スポーツ施設の相互利用事業	事業No.3
------------	---------------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

3	<p>4…市町単独で行うより連携の方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	--

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

3…相互利用については②で記載されているとおり、指定管理施設等への財源補填など課題が大きい

4…雪国の生活環境における課題はあるものの、国・県・市町が一体的な整備を行うことにより走行・受入環境の整備が図られ、最終的にはNCRの指定を目指す。積極的な情報発信を行うことでインバウンド・交流人口の増加による地域振興の活性化が図られる

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	---

市町名 / **【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

(この欄は空欄です)

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	教育委員会 生涯スポーツ課	課長	吉田 大輔	確認しました
魚沼市	教育委員会 生涯学習課	課長	青柳 洋介	確認しました
湯沢町	子育て教育部教育課	部長	南雲 剛	確認しました

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		指定管理者との関係などから現状、スポーツ施設の相互利用の実現性は低いですが、自転車関連などの取組から広域連携体制のメリットは担当のワーキンググループも認識していることから、連携体制は継続し、次期共生ビジョンに向けた取組を検討する。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		

事業名	文化施設の相互利用事業	事業No.4
------------	-------------	---------------

① 事業概要

・地域住民に対する文化施設の有効活用を図るため、現在、南魚沼市と湯沢町との間で行っている文化施設の相互利用を魚沼市にも拡大する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・南魚沼市と湯沢町との間では既に「南魚沼地域市町村圏域構成市町の公の施設の相互利用に関する協定」が締結されている。
 ・魚沼ホール協会を通じてチケットの販売や機材の相互利用を行っている。
 ・各施設の施設管理者へ利用料、減免状況を確認したところ、同一条件での利用には財源補填を要するため、現状では難しい。
 ・人口減少下において、利用者減少による施設統合や廃止を見越した対応が必要になることが見込まれるため、相互利用できる方法を検討していく。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・ 減免基準の調整
 ・ 減免範囲の増加に伴う指定管理者への補てんと財政負担の不均衡が生じる
 ・ 減免基準の制約が大きい割に利用者が見込めない

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤ 事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している) 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	--

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃実現可能となるか(実現したか)記載】
 各市町の減免基準と圏域市町の施設を利用する際の減免基準の調整が必要。文化施設は指定管理者が運営しているため減免範囲が広がることで指定管理者の収入への影響もある。

事業名	文化施設の相互利用事業	事業No.4
------------	-------------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

2	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】
 広域連携のメリットは減免基準を広げることで利用者の選択肢や金銭的負担の軽減などが考えられるが、指定管理者への補てんと現状の利用状況だと恩恵はごく一部の地域住民に限られ、効果は少ない上、財政負担に不均衡が生じる。

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名		【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
-----	--	------------------------------------

南魚沼市	3	
魚沼市	3	
湯沢町	3	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

※このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	社会教育課	課長	西潟 英男	
魚沼市	生涯学習課	課長	青柳 洋介	
湯沢町	子育て教育部	部長	南雲 剛	確認しました。

今後の方針

事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(備考)	事業達成による利用者へのメリットが低いことや利用料統一など、指定管理者との調整が困難との理由から第1期共生ビジョンから取組が進んでいない。各市町の文化施設の更新が議論される際には、共同利用・共同設置についても議論されることが予想されるが、そのために今の体制を継続するメリットが低いと考える。2市1町間で具体的な議論がされる段階になったら、新たなワーキンググループの設置を検討することとし、「文化施設の相互利用事業」としては既存の事業を廃止としたい。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	公民館講座の相互利用事業	事業No.5
------------	--------------	---------------

① 事業概要

・各市町が開催する講座を地域住民が相互に受講できるようにする。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・各市町の在住者及び在勤者を対象に、各市町独自の教養講座を開催している。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

3	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・ 講座に参加する場合の周知及び募集方法など

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

3	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか (実現したか) 記載】
 今後の調整次第になるが、現時点において実現可能な時期は未定。

事業名	公民館講座の相互利用事業	事業No.5
------------	--------------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

3	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】
 現在の連携事業については、子供や外国人を対象を限定した事業になっている。
 今後各市町が行う講座等への連携を考えていく場合、距離的に隣接する市町に近い場合は参加しやすいが、遠い場合は参加しにくいこと、講座の対象者が高齢者や子供といった年齢層に限定されるものが多い。

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができていく (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	---

市町名 / **【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	3	
魚沼市	3	
湯沢町	3	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

・現在の連携事業については継続。今後は魚沼市及び湯沢町で行っている又は計画される事業への連携拡大。
 ・月1回など定期的に開催される講座等については、課題は多くあるが、連携可能か検討していく。

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載)備考・コメント
南魚沼市	社会教育課	課長	西潟 英男	
魚沼市	生涯学習課	課長	青柳 洋介	
湯沢町	子育て教育部	部長	南雲 剛	確認しました

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		南魚沼市の講座を相互で受講できる状況であり、ワーキンググループで新しい取組の検討を進めていることから継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		

事業名	定住促進事業	事業No.6
------------	--------	---------------

① 事業概要

- ・首都圏に在住する圏域出身者や移住検討者に対し、相談会・セミナー等の開催や効果的な情報発信、圏域内の雇用の確保や地域産業の担い手の創出につながる取組みを実施する。
- ・転出の起因が圏域外への進学等によることから地元定着へ繋がる取組みを実施する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・各市町の動きにとどまっている相談会・セミナー等が多い中、首都圏移住相談会などは連携が図れている。
- ・圏域内では、高い求人倍率が続き、求人があってもなかなか人が集まらない状態。特に、専門的知識や高度な技術が求められる職種や業種への人材確保が難しい状況である。
- ・南魚沼地域雇用対策推進協議会、高等学校連絡協議会で、地元高等学校就職担当教員や商工会を含めて情報共有ができていますが、移住定住担当と商工担当との更なる連携が求められている。
- ・高校生向け応募前企業説明会や若者向けの就職ガイダンスは、ハローワークを含めた連携により実施されている。しかし、若者向け就職ガイダンスは、参加者が少ない課題があり、首都圏等での効果的な発信が求められている。
- ・高校向け職場体験は、令和元年度から連携した取組みが始まっている。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

2	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.
.
.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。

- ★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
- ★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤ 事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

3	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか(実現したか)記載】
 次期計画期間内に実現できるよう進めていきたい
 高校生職場体験や就職ガイダンスは、既に連携して実施している。

事業名	定住促進事業	事業No.6
------------	--------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができていない (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	---

市町名 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	産業振興部商工観光課	課長	西潟 一郎	
	総務部U&Iときめき課	課長	若井 勉	
魚沼市	総務政策部地域創生課	副部長(課長兼務)	吉田 英樹	
	産業経済部商工課	副部長(課長兼務)	小島 勉	
湯沢町	企画観光課	課長	富沢雅文	

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	高校生の職場体験など、2市1町の取組みが着実に実施されていることから継続の方針とする。	
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		

事業名	産業連携事業	事業No.7
------------	--------	---------------

① 事業概要

・圏域内の新たな事業の創発や事業継承、企業間連携、そして大学と企業の連携の促進を図るため、圏域全体を対象とした取組みを実施する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・創業支援セミナー等は相互周知でとどまっている。
 ・各市町に業界団体があるものの企業間連携は図れていない。
 ・各市単体で様々な大学との連携が進められている。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

1	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・セミナー等のイベントにおいて相互利用を積極的に促す場合は、定員の設定や市町間の費用負担のあり方が課題となる
 ・各市町間の企業間連携をどう取るか、課題がある。

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
 ★必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
 ★必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

3	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか(実現したか)記載】
 ・広域連携のメリットをどのように捉えるかなど、市町間での協議が必要。

事業名	産業連携事業	事業NO.7
------------	--------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

- ・広域連携によるスケールメリットを活かすことができれば、実施するイベントの質を高めることも可能。
- ・例えば、南魚沼市まちづくり推進機構が開催するセミナーなどは、圏域内の住民や事業者も参加可能でメリットがあるので、周知をすることにより認知を広げたい。

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	産業振興部 商工観光課	課長	西潟 一郎	
魚沼市	産業経済部 商工課	副部長 (課長兼任)	小島 勉	
湯沢町	産業観光部 企画観光課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	現状では事業の実現の目処は立っていないが、事業が実現した場合の効果が期待できることから取組を継続する方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	圏域観光情報窓口事業	事業No.8
------------	------------	---------------

① 事業概要

・越後湯沢駅内の広域観光情報センター及び浦佐駅内のMYUを圏域の観光情報窓口位置付け、インバウンド観光にも対応した観光案内サービスを行う。また、観光メニュー（温泉など目的別観光案内）の開発や、圏域観光情報をSNS等に掲載する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・現在の越後湯沢駅内の広域観光情報センターは、湯沢町とえちご魚沼観光開発協議会（南魚沼市・湯沢町・JR東日本・NEXCO東日本）が湯沢町観光まちづくり機構に委託し、観光案内業務を行っている。
 ・現在、広域観光情報センターでは、把握可能な範囲で各市町の観光情報を案内しているものの、対応できない場合にはその都度問合せ先を紹介している。
 ・浦佐駅内に、うおぬま・浦佐駅観光案内所「MYU（ミュウ）」を開設し、南魚沼市観光協会と魚沼市観光協会が共同で運営を行っている。

③ 事業実現までの進捗状況（1～4のうちいずれかを選択）

4	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・観光の付加価値を高めるために、文化関係部署と連携ができるとよい

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤ 事業の実現可能性について（事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択）

4	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している）</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	--

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】
 MYU開設時（令和元年度）

事業名	圏域観光情報窓口事業	事業No.8
------------	------------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

【広域観光情報センター・MYU】

冬季インバウンド増による対応の必要性があることから、インバウンド対応、情報発信、災害時の情報発信の強化を図る。

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	商工観光課	課長	西潟 一郎	
魚沼市	観光課	課長	鈴木 智博	
湯沢町	企画観光課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	<p>すでに連携体制が構築されており、ワーキンググループとして広域連携のメリットを評価していることから継続の方針とする。</p>
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	廃棄物処理等広域連携事業	事業No.9
------------	--------------	---------------

① 事業概要

・従来から行ってきた広域的な取組や、新ごみ処理施設建設の協議により積上げてきた横断的な課題を踏まえながら、広域的な廃棄物処理等における連携体制を目指す。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・平成27年2月3日基本合意に基づく2市1町での新ごみ処理施設建設については、令和3年3月8日における方針の見直しにより、南魚沼市と湯沢町1施設、魚沼市1施設のそれぞれで整備することに決定。
 ・2市1町は、これまでの新ごみ処理施設建設にかかる検討委員会及び、作業部会で培ってきた内容を踏まえ、今後も取組について連携して行くことで合意。
 ・現在、魚沼市のごみ処理施設へ委託処理を行っている大和地域については、南魚沼市と湯沢町が建設する新ごみ処理施設の稼働開始に併せ、南魚沼市での処理に移行する。
 ・平成28年10月から2市1町は、生ごみを削減し、ごみ減量化を推進するため、圏域内で営業する飲食店や宿泊施設等を対象として「おいしい食べきり運動」を実施している。

③ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤~⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1~4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか(実現したか)記載】
 令和3年度から共同の取組を始めている。

事業名	廃棄物処理等広域連携事業	事業No.9
------------	--------------	---------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 / 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	廃棄物対策課	課長	大内義和	
魚沼市	生活環境課	課長	小林 淳	
湯沢町	環境農林課	課長	関 直人	

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	<p>新ごみ処理施設の方針転換以降、2市1町で食品ロス削減や意識啓発の取組を継続しており、ワーキンググループとして広域連携のメリットを評価していることから継続の方針とする。</p>
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	し尿等受入施設広域化事業	事業No.10
------------	--------------	----------------

① 事業概要

・従来から行ってきた広域的な取組を維持しながら、し尿等受入施設を2市1町で建設し、広域的な処理体制を整備する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・既存施設の老朽化により、新し尿等の受入施設を2市1町で建設した。
 (平成30年2月28日に新施設が完成し、平成30年度から運用を開始している。)

・魚沼市と南魚沼地域(南魚沼市、湯沢町)の負担割合及び支払時期は協定により合意済み。(平成26年3月28日に協定締結)

・処理経費については、H29と比較し約4割減。

③ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤~⑦の視点から連携事業について評価していただきます。

★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。

★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1~4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか(実現したか)記載】

地域要望である道路改良工事は完了した。また、搬入量も安定しており、今後は管理運営を継続して行う。

事業名	し尿等受入施設広域化事業	事業No.10
------------	--------------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	---

市町名 / 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	2	廃棄物対策全般で適時、担当者情報共有が出来ている。
魚沼市	2	廃棄物対策全般で適時、担当者情報共有が出来ている。
湯沢町	2	廃棄物対策全般で適時、担当者情報共有が出来ている。

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	廃棄物対策課	課長	大内 義和	
魚沼市	生活環境課	課長	小林 淳	
湯沢町	環境農林課	課長	関 直人	

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		平成30年2月に2市1町のし尿処理施設が完成して以降、各市町の役割分担が確立していることから、継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		

事業名	消費生活相談体制の強化事業	事業No.11
------------	---------------	----------------

① 事業概要

・圏域内の消費生活に関する安全・安心を確保するため、相談内容や対応状況について情報交換や、圏域内住民の相談窓口利用の自由化により、適切な対応が図られる体制を構築する。また、2市1町で連携しながら啓発活動を実施するほか、それぞれの相談員を対象とした学習会を共同で開催する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・南魚沼市においては、消費生活センターを設置している。
 ・魚沼市においては、平成29年度から消費生活センターを設置している。
 ・湯沢町においては、相談窓口で担当職員が対応している。平成27年度に「形成協定」を締結したことから、消費生活センターを設置していない湯沢町においても消費生活センターを設置したとみなされた。
 ・講演会等の共同開催により、連携が図られてきている。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか (実現したか) 記載】
 実現済

事業名	消費生活相談体制の強化事業	事業No.11
------------	---------------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	商工観光課	課長	西潟 一郎	
魚沼市	市民課	課長	和田 純恵	
湯沢町	町民課	課長	南雲 一也	

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	消費者問題講習会の共同開催、啓発物の配布など、着実な取組が実施されていることから、継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	木質バイオマス利用促進事業	事業No.12
------------	---------------	----------------

① 事業概要

・地球温暖化の防止、地域資源循環システム構築、森林整備の促進と森林資源の有効活用を推進し、木質バイオマス利用の普及促進を図る。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・薪・ペレットストーブ等の導入補助を推進しているが、補助上限額等は市町で異なる。また、圏域での事業が無い。
 ・魚沼市 薪ストーブ、ペレットストーブ 補助率 1/4 上限 150千円
 ・南魚沼市 薪ストーブ、ペレットストーブ 補助率 1/4 上限 80千円
 ・湯沢町 ペレットストーブ 補助率 1/3 上限 100千円
 薪ストーブ 補助率 1/3 上限 200千円 (H30～)

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

1	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・R2のビジョンでは本項目の掲載があったが、R5.10の変更で削除された。報告したところで、ビジョンにない事業でKPIも全く違う中で意味がない状態が続いている。(南魚沼市 回答:1)

・薪、ペレットストーブの補助制度については、各市町が独自に定めるもので広域的な取組とするメリットが見出せない。(魚沼市 回答:1)

・各市町が単独で補助事業を実施しており、広域連携の必要性が見出せない。(湯沢町 回答:1)

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

1	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃実現可能となるか(実現したか)記載】

・R2のビジョンでは本項目の掲載があったが、R5.10の変更で削除された。報告したところで、ビジョンにない事業でKPIも全く違う中で意味がない状態が続いている。(南魚沼市 回答:1)

・薪ストーブ等への木材供給についての連携は、輸送コストが障害となり現実的でないため。また、市内森林組合や木材事業者等からも広域連携での課題解決を求める声がないため。(魚沼市 回答:1)

・各市町が単独で補助事業を実施しており、広域連携の必要性が見出せない。(湯沢町 回答:1)

事業名	木質バイオマス利用促進事業	事業No.12
------------	---------------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

1	<p>4…市町単独で行うより連携の方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	--

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

- ・R2のビジョンでは本項目の掲載があったが、R5.10の変更で削除された。報告したところで、ビジョンにない事業でKPIも全く違う中で意味がない状態が続いている。事業廃止の方針でR6のローリングに挙げた。(南魚沼市 回答:1)
- ・当市を含め域内には大規模な木質バイオマス施設はなく(計画も含め)、薪ストーブやペレットストーブへの木材供給についての調整であれば、市町単独で進めていった方が良いと考えるため。(魚沼市 回答:1)
- ・各市町が単独で補助事業を実施しており、広域連携の必要性が見出せない。(湯沢町 回答:1)

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する(定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている(定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています(定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない(定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 **【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	1	R2のビジョンでは本項目の掲載があったが、R5.10の変更で削除された。報告したところで、ビジョンにない事業でKPIも全く違う中で意味がない状態が続いている。
魚沼市	1	共生ビジョンに効果を見出せない中で単なる情報交換の場となっている。
湯沢町	1	・各市町が単独で補助事業を実施しており、広域連携の必要性が見出せない。

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

なぜ、「木質バイオマス利用促進事業」と変更して共生ビジョンとして進めてきたのか、終了しビジョンから削除された事業の取扱いはどのように整理されているのか疑問である。生活機能の強化に係る政策分野、形成協定(3)産業振興、林業振興の推進、木質バイオマス発電事業と掲載されていた事業であるため、そもそも取組が終了した段階でワークシートからも削除するべき案件ではなかったか? 単に各自自治体を実施している補助金の実績報告で意味がないため、林業振興として復活をするのであれば里山整理や分取造林、吸収源対策としての森林整備事業など圏域で一体となって進めることで効果が生れるビジョンが必要だと考える。(南魚沼市)

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載)備考・コメント
南魚沼市	環境交通課	課長	岩井 英之	木質バイオマス利用促進事業は、共生ビジョンとして相応しくない。
魚沼市	生活環境課	課長	小林 淳	
湯沢町	環境農林課	課長	関 直人	

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し		(備考)	<p>当初共生ビジョンにおいて木質バイオマス発電所の設置の検討を進めてきたが当時の現状を取り巻く環境を考慮し事業を廃止し、当該WGで、木質バイオマスを広域で活用する取組を検討することになった。木質バイオマスの活用促進に関する取組は、それぞれの市町の取組に留まっており、広域化によるメリットも低いとの評価となっている。現在のワーキンググループは廃止し、各市町の環境・農林担当課には、広域で取り組むことでメリットが見込める連携事業の検討を促し、具体の提案があった場合に新たなワーキンググループの設置を進めることとする。</p>
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し		(備考)	

事業名	防災対策活動推進事業	事業No.13
------------	------------	----------------

① 事業概要

- ・災害備蓄用品の在庫について情報共有を図る。
- ・新潟県が運用する地域衛星通信による送信、通信訓練を行う。
- ・国・県開催の各種リモート訓練を通じて情報伝達方法の確認を行う。
- ・自主防災組織の現状と課題を整理し共有する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・感染症対策強化前の災害備蓄用品在庫の情報共有にとどまっている。
- ・新潟県が運用する地域衛星通信による送信訓練の実施回数が少ない。
- ・国、県開催の各種実働訓練が中止となっている。
- ・台風時・出水時に連絡を取り合い相互の情報共有を図っている。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

- | | |
|----------|--|
| 4 | <p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p> |
|----------|--|

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。

★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。

★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤ 事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

- | | |
|----------|---|
| 4 | <p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p> |
|----------|---|

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃実現可能となるか(実現したか)記載】

- ・コロナ禍も終わり、実働訓練も再開されており、各種情報共有を含めて、圏域での連携が取れている。

事業名	防災対策活動推進事業	事業No.13
------------	------------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名		【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
-----	--	-----------------------------

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

・災害時に使用する備蓄品の保管について、現状は2市1町それぞれで行っている。それについて、広域連携の枠組みの中で共同備蓄することや、『物資の輸送に関する協定』等を組み入れながら、備蓄品の選定・管理・発災時の輸送等を委託業務としてアウトソーシングするなどについて検討を行いたい。

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	総務課	課長	宮崎 一博	
魚沼市	防災安全課	課長	佐藤 豊	
湯沢町	防災管財課	課長	小暮 亨	

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	WGとして災害備蓄業務の広域化に向けた具体的な検討を進める意向があることから継続の方針とする。 次期共生ビジョンの新規連携事業「災害備蓄品共同備蓄推進事業」を具体的な取組の1つに据えて、現在のWGの体制で共生ビジョンへの掲載に向けた検討を進めることとする。	
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		

事業名	子育て拠点施設の相互利用事業	事業No.14
------------	----------------	----------------

① 事業概要

・圏域内の子育て拠点施設が、それぞれの特徴を活かしつつ、連携することにより、様々な子育て親子のニーズに応えられる事業に改善。

・情報や課題を共有し、圏域内全体という視点での事業見直し、事業協力・連携の検討、相互利用の周知徹底圏域内情報発信の拡充。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・圏域内の子育て支援拠点は、湯沢町には総合子育て支援センター「ふれあいひろば」に加えR元年11月にキッズスペース「雪ん子」がオープン、南魚沼市はH29年12月に「子育ての駅ほのぼの」がオープン、魚沼市は「子育て支援センターぱびる」に加え、H30年5月「子育ての駅かたくり」がオープンし、圏域内の施設面の充実が進んでいる。

・広場等の活動スペースでは市外利用者も相互に受け入れている。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。

★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。

★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤ 事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

4	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃実現可能となるか(実現したか)記載】

令和2年度からお互いの子育て拠点施設の情報発信をおこない、現在の成果に結びついている

事業名	子育て拠点施設の相互利用事業	事業No.14
------------	----------------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 / 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	4	
魚沼市	3	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	子育て支援課	課長	上村 清	
魚沼市	子ども課	課長	関 祐樹	
湯沢町	子育て支援課	課長	田村 美和子	

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	広域で住居に関係なく子育て支援施設を利用できる住民のメリットを考慮し、継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	路線バス支援事業	事業No.15
------------	----------	----------------

① 事業概要

- ・圏域内における生活交通等を確保するため、地域公共交通ネットワークである基幹バス路線の運行を維持する。
- ・既存の基幹バス路線については、主要公共施設等への運行延長を図ることにより、地域住民の利便性を向上させる。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・基幹バス路線は、通勤や通学における生活交通として利用されている。
- ・基幹バス路線の主要公共施設への乗入れ経路については、バス運行事業者及び関係機関との協議を実施している。
- ・令和3年10月から基幹路線バス（六日町-浦佐-小出線）の魚沼基幹病院への乗り入れを実証実験として運行開始した。

③ 事業実現までの進捗状況（1～4のうちいずれかを選択）

2	<ul style="list-style-type: none"> 4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について（事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択）

2	<ul style="list-style-type: none"> 4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】
 運転手確保や処遇改善などに向けた取り組みは確かに課題解決の手段として有効ではあるものの、一方で当事業の目的達成においては運行事業者の経営判断に依存せざるを得ない状況であることから、2市1町の連携事業のみでの目的達成は著しく困難である。

事業名	路線バス支援事業	事業No.15
------------	----------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 **【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	2	地域間幹線系統バスの運行に関する同様の協議の場が既に存在し、当該連携事業に限らず情報交換や認識の共有も十分行っているものと考ええる。
魚沼市	4	情報共有や共通課題の認識といった観点では有効であると同時に、地域間幹線系統バスの分野に関しては、同様の枠組みで協議の場が存在している。
湯沢町	4	連携事業に限らず、交通政策に関する情報交換や認識の共有をすることができており、人材育成の場としては有効だと考えられる。

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	都市計画課	課長	塩原裕一	
魚沼市	生活環境課	課長	小林 淳	
湯沢町	企画観光課	課長	富沢雅文	

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し		(備考)	定住自立圏の取組みとは別に2市1町の協議の体制が構築されているものの、情報交換などの人材育成の面では、ワーキンググループとしては一定の効果があると評価している。今後、公共交通機関の重要性が増していくことを踏まえ、課題解決のための広域の取組を検討していく体制が必要であることから、継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し		(備考)	

事業名	婚活支援事業	事業No.16
------------	--------	----------------

① 事業概要

・各市町で開催されている結婚支援事業（婚活イベント、自己啓発セミナー及び結婚相談等）について、イベント情報を共同発信することにより、圏域内外から幅広く参加を促す。また、地域住民が統一された条件の下で支援を受けられる体制を実現する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・魚沼市では独自に実施している一方、南魚沼市と湯沢町では、「南魚沼地域広域計画協議会」において共同で実施している。
 ・近隣地域での婚活には、精神的なバリアがあるため、いかに「婚活感」を出さないように事業を行うかが課題となっている。
 ・ハートマッチにいがた臨時サポートデスクを圏域内で開設する。

③ 事業実現までの進捗状況（1～4のうちいずれかを選択）

4	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

.

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
 ★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
 ★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について（事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択）

4	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している）</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	--

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

事業名	婚活支援事業	事業No.16
------------	--------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1~4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

3	<p>4…市町単独で行うより連携の方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	--

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】
 婚活イベントは年齢制限を設けている。概ね20代~40歳の独身者。

⑦人材育成等の観点から (1~4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができていない (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 1.2 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	企画政策課	課長	見留 雅之	
魚沼市	地域政策課	課長	吉田 英樹	
湯沢町	企画観光課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	令和5年度には2市1町の合同イベントを実施し、今後も連携事業の継続を予定している。圏域での定住促進にも繋がる取組でもあることから継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	広報活動推進連携事業	事業No.17
------------	------------	----------------

① 事業概要

・圏域住民にフェイスブックなどのSNSのシェア機能を用い、情報提供を行う。将来的には、広報誌等での情報提供も検討する。また、文化・スポーツ施設・公民館講座・子育て情報などの相互利用を進めるため、各市町の広報紙等を通じて情報発信を行う。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・記事や情報のシェアについては、ある程度規模の大きなイベントで、定住自立圏内や圏外からの交流人口の活性化のために寄与できるものを中心に行うものとするとしているため、なかなか提供し合う情報の発信につながらない。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

3	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない</p>
----------	--

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

- ・各ワーキンググループから2市1町での広報活動の情報を求めたが情報提供がない。
- ・圏域内で周知する情報を共有する流れやきまりができていない。
- ・SNSは、運営方針や使用状況が異なり調整が難しい。

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

3	<p>4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している)</p> <p>3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる</p> <p>2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難</p> <p>1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃実現可能となるか(実現したか)記載】
 定住自立圏事業で相互利用可能な施設(図書館)について、2市1町の広報紙2月号で枠を設け情報発信を行う。

事業名	広報活動推進連携事業	事業No.17
------------	------------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

4	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 / 【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	秘書広報課	課長	上村 直樹	
魚沼市	秘書広報課	課長	安達 文子	
湯沢町	企画観光課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の方針			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	現状では共生ビジョンに関する取組について、圏域の広報で積極的に取り上げるまでには至っていないが、2市1町の同月の市報で共生ビジョンの取組を情報発信する動きが出てきている。圏域の住民に定住自立圏の取組を知ってもらう機会増やしていくためにも継続の方針とする。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

事業名	職員の人材育成のための合同研修事業	事業No.18
------------	-------------------	----------------

① 事業概要

- ・各市町において実施している独自の職員研修を、圏域の自治体職員を対象として合同で実施する。
- ・圏域共通のテーマについて職員の合同研修を行う。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・各市町において実施している独自の研修は共通した内容が多い。
- ・各市町で共通した内容の事業を実施している場合もあるが、各市町の事業課担当職員が顔を合わせて話し合う機会は少なく、広域連携を検討する場も少ない。
- ・各市町間において担当以外の職員との交流の機会が少ないため、各市町で実施している先進事例や独自の取組状況についての情報が十分に共有されず、事務の改善等が進みにくい。
- ・平成27年度から、年に1回程度、魚沼地域定住自立圏構想ワーキンググループ会議を開催している。

③ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

- | | |
|----------|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない |
|----------|---|

④(あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・

次期共生ビジョンの取組方針を検討するため、以下⑤～⑦の視点から連携事業について評価していただきます。
★ 必ず2市1町のワーキンググループメンバーで相談をした上で評価を行ってください。
★ 必ず評価の内容について2市1町の担当所属長から確認を受けてください。

⑤事業の実現可能性について (事業の継続、事業概要達成の実現性、困難度について1～4のうちいずれかを選択)

- | | |
|----------|--|
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる (or既に実現している) 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能 |
|----------|--|

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3.4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか(実現したか)記載】
 ・効果的で効率よく実施できる事業を選択し、目標設定をしないとKPIの達成が困難なため。

事業名	職員の人材育成のための合同研修事業	事業No.18
------------	-------------------	----------------

⑥広域連携のメリットについて (1～4のうちいずれかを選択) ※将来的な課題への対策などの要素も含めて、メリットを検討してください。

2	<p>4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる (or既に連携が行われている。)</p> <p>3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される</p> <p>2…連携による効果が小さく、現行と大差がない</p> <p>1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。</p>
----------	---

【上記で1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】
 会場に集まって行う合同研修事業は、人数の制限、会場確保、会場までの移動などの調整に時間がかかり、各自治体単独で実施したほうが進めやすいことが多い。また、オンライン研修は、効果が小さい場合もあるので、各市町が共通して効果が期待できる研修を慎重に検討する必要があるため。

⑦人材育成等の観点から (1～4のうちいずれかを選択)

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	<p>4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する (定住自立圏の場合は人材育成に有効)</p> <p>3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている (定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある)</p> <p>2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています (定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない)</p> <p>1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない (定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない)</p>
-----------------------	--

市町名 / **【1.2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	2	2市1町で人事担当者会議を開催し、各市町の人材育成面も含めて総合的な情報交換を行っている。
魚沼市	2	2市1町で人事担当者会議を開催し、各市町の人材育成面も含めて総合的な情報交換を行っている。
湯沢町	2	2市1町で人事担当者会議を開催することにより、両市からの人材育成面も含めた総合的な情報交換を行うことが出来る。

⑧(あれば記載) その他次期共生ビジョンの進め方について ※既存事業から見直す場合の方針や新しい取組の可能性などがあれば記載

⑨確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	総務課	課長	宮崎 一博	
魚沼市	総務人事課	課長	浅井 直樹	
湯沢町	総務課	課長	前原 力	

以下事務局記載欄

今後の方針				
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(備考)	<p>定住自立圏の体制があることにより、他自治体の職員の顔見知りの交流があるメリットは大きい。他自治体と交流から得られる情報や経験は、人材育成の面でも効果が期待される。次期共生ビジョンの策定に向け、合同研修の実施のみに事業を限定せず、2市1町の職員が交流する機会を創出し、自由な発想から職員の成長に繋がる取組を検討することとする。</p>	
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)		